

実習施設の概要（病院）

病院の名称						
位置						
開設者						
管理者						
保険医療機関指定日						
病床数						
実習生受入れ状況 （年度）	学校数		年間受入れ延べ人数			
実習生受入れ予定 （年度） （月 日時点）	学校数		年間受入れ延べ人数			
常勤薬剤師数						
実習指導者	氏名		実務経験年数		実習指導に係る研修歴	
院内調剤件数						
薬剤管理指導請求件数						
院外処方箋発行枚数						
実習科目名（実務実習モデル・コアカリキュラム到達目標）	()					

(注)

1. 実習施設が複数にわたる場合は施設別に記載することとする。
2. 「実習生受入れ状況」の「学校数」の欄は、当該実習施設が実習生の受入れを承諾している学校の数（申請又は届出を行う大学も含めた数）を記入することとする。また、「年間受入れ延べ人数」の欄は、申請又は届出時の前年度における当該実習施設の年間の受入れ延べ人数（他大学からの受入れ学生数も含む。）を記入することとする。
3. 「実習生受入れ予定」の「学校数」の欄は、申請又は届出を行う大学が実務実習を行う年度に、他大学実習生の受入れが行われる場合、申請又は届出を行う大学も含めた学校数を記入することとする。また、「年間受入れ延べ人数」の欄は、申請又は届出を行う大学が実務実習を行う年度に、他大学からの受入れも含め、当該実習施設が年間に受入れる延べ人数（予定）を記入することとする。
4. 「常勤薬剤師数」の欄は、常勤換算した薬剤師の数も含むこととする。
5. 「実務指導者」の欄は、次のとおり記入することとする。
実習指導者の実務経験年数については、常勤に換算した場合の年数を記入することとする。
実習指導者の研修歴については、主催団体名、研修年度、研修の名称を記入することとする。
6. 実習指導者が複数になる場合には、実習指導者毎に欄を設けることとする。
6. 「院内調剤件数」「薬剤管理指導請求件数」「院外処方箋発行枚数」の欄は、過去1年間の処方箋受け取り実績を元に、1ヶ月の平均を記入する。
7. 「実習科目・事項」の欄には、各大学における実習科目名と「実務実習モデル・コアカリキュラム（ ）病院実習」における到達目標を記入する。（記入例：（1）全目標、（2）全目標、（3）を除く全目標、（4）1.～10.等）